

令和 7 年 7 月 定例教育委員会

日 時 令和 7 年 7 月 2 9 日（火） 9 時 3 0 分～

場 所 市役所 1 1 階 会議室 1

出席者

（教育委員）

陣内教育長 松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

井上教育総務部長 鳩山学校教育部長 木下学校教育部次長兼学校教育課長 稲葉学校教育部次長 藤川学校教育部次長兼学校保健課長 溝口総務課長 田村社会教育課長 大田学校保健課主幹 徳永総務課長補佐兼庶務係長 船本社会教育課長補佐兼指導係長

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

（1）教育長報告

（2）令和 7 年 5 月分 議事録確認

（3）議 題

なし

（4）協議事項

- ① 「まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書 2 0 2 4」の取扱いについて
（学校教育課）

（5）報告事項

- ① 令和 7 年度 2 学期の学校訪問について（学校教育課）
② 令和 7 年度佐世保市中学校体育大会の反省について（学校保健課）
③ 第四次佐世保市子ども読書プランについて（社会教育課）
④ SASEB0 グローバルキッズ・チャレンジ事業について

（6）その他

- ① 次回開催予定について

◆教育長報告

- 6月12日～ 令和7年6月定例会
7月2日
- 7月6日 第75回社会を明るくする運動 中学・高校生弁論大会
- 7月9日 佐世保市学校給食センター視察（7月教育委員会協議会）
- 7月12日 少年の主張大会
「発掘された日本列島2025」展
- 7月17日～ 第2回長崎県都市教育長協議会
7月18日
- 7月22日～ 中国瀋陽市訪問
7月25日

（１）教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

おはようございます。7月定例教育委員会を開催したいと思います。

前回6月の定例教育委員会が6月26日に開催され、その後の動きとして報告をいたします。

まず6月議会が6月12日から7月2日の会期で開催がされました。特に小中学校の体育館のエアコンに関する補正予算を計上しておりましたが、ご承認をいただき、作業に入っているところでございます。

それから7月協議会にて給食センターの訪問を行いました。実際に、給食センターの業務を見せていただく中で、丁寧な配慮がなされており、様々なご苦労もを見せていただきまして、良い勉強になったかと思っております。

それから、7月6日には社会を明るくする協議会、7月12日には少年の主張大会と2つの弁論大会が開催されました。どちらも本当に質の高い弁論で、私も時間を忘れて聞き入ったような状況でした。今まで模範的な思いを発表されることが多かったのですが、今回は個人の感情がみずみずしく発表されており、審査が難しかったらと思うほどの素晴らしい発表が目白押しでした。

それから7月12日から、「発掘された日本列島2025」展がスタートいたしました。特に7月27日は、東京大学の海部教授の記念講演もあり、本当に盛況で、開催時刻には列ができるぐらいでした。日に日に客足も増えてきているようです。ぜひ子どもたちにも本物を一度見に来て欲しいので、学校にも呼びかけをしていきたいと思っております。

それから7月17日・18日が五島市への出張で、長崎県都市教育長協議会に参加させていただきました。

また、7月22日から25日にかけては、佐世保市の姉妹都市である中国瀋陽市に出張しました。佐世保市の子どもたちとの合同作品展が開催され、瀋陽市のテレビにも取り上げていただきまして、市民間の交流がしっかりできたかなと思っております。

以上でございます。

それでは議事録の確認を行いたいと思いますが、5月分の議事録についてはよろしかったで

しょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。

それでは本日の会議に入っていきます。議題はありません。協議事項が1件、報告事項が4件でございます。

協議事項の「まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書2024」の取扱いについて、お願いいたします。

（２）「まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書2024」の取扱いについて

【木下学校教育課長】

協議資料P1～P28により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。

教育委員会規則の中で、必ず教育委員会で決めなければいけないことと、教育委員会から教育長が委任をされて、教育長の権限で決めていることがございます。今回の案件であるこの本の取り扱いにつきましても、教育委員会で議決する案件ではなく、私に委任されている事項になります。よって、私の決裁で、27ページのような判断をし、学校に通知をしているというものです。

この資料は、小学校高学年の子どもを対象とし、日本の安全保障の環境や自衛隊の活動を解説するために作成されたもので、子どもたちの発達段階や背景などを十分に配慮したうえで活用について検討をしてくださいということになっています。

これに対して、関係団体によってはいろいろな考えがございましてということで、皆さんからご意見があればお伺いして、また私の判断で今後対応を決めていく形になります。

私独自の判断をするだけではなく、その手前として皆さんのご意見もいただければ、それを参酌し反映したいと思っておりますので、協議事項とさせていただいておりますが、お尋ね等ございますか。

【松野教育長職務代理】

配慮しなければならないところもありますが、様々なとらえ方や考え方がございますので、それを考慮したうえでの教育長の判断ということで良いと思います。

【中村委員】

私も、教育長のこの判断と留意点の記載について、この通りがよろしいというふうに考えます。

内容についてはデリケートな部分もあるとは思いますが、極端に偏らず、客観的な事実をきちんと伝えていくということは大切なことだと思います。27ページに書いてありますような配慮が当然必要だと思いますが、教育長のこの取り扱いを支持いたします。

【西沢委員】

私も教育長の判断が良いと思っておりまして、この冊子をきっかけに議論の投げかけの1つとして使用し、いろんな児童の意見を交えさせるということができないのではないかなと思います。

留意していただいたうえで、これが正しいというわけではなく、議論につなげていくとよりよい教育活動に繋がるのかなと思います。外交であったり、日本の防衛について、子どもたちが考えるきっかけになるので、すごく良いかなと思っております。

1つ質問ですが、他の市町や県では、これに対してやはり同じような意見が出ているのでしょうか。状況をご存じでしょうか。

【木下学校教育課長】

要望書を持って来られた団体のお一人が、「諫早市教育委員会は回収をしたと聞いています」とおっしゃっており確認をしましたが、そのような事実はありませんでした。

また2つ目の情報として、長崎市は、教室ではなく職員室等で保管をしているということを知っております。

【西沢委員】

ありがとうございます。佐世保市は特に職員室で保管などということではないということが良いでしょうか。

【木下学校教育課長】

はい、27ページに記載のとおりとしています。

【西沢委員】

わかりました。以上です。

【古賀委員】

2点質問で、活用の実績があったのかなというところが1点と、白書は毎年発行しているのですが、今回だけこのようなお話があったのか、過去にもあったのか教えていただきたいです。

【木下学校教育課長】

活用状況については把握できておりません。

学習指導要領中の小学校6年生社会科にある災害復旧の中で、自衛隊の活動が紹介されているので、そこで補助的に活用されていることが考えられると思います。

2点目についてですが、数年発行されておりますが、各学校に直接送付されたというのは今回が初めてのことです。以上です。

【古賀委員】

ありがとうございます。私も教育長がされた判断で良いと思いますが、子どもたちにも適切に使ってもらえたらなと思います。

【陣内教育長】

教育委員会の一番重い職務の1つが、教科書採択だと思います。

何故かというと、教科書採択というのは、国が法令に基づいて小中学校の主たる教材として使用を義務づけ、これを必ず使って授業をなささいということになるからです。

いろんな資料図書がありますが、一人一人の考え方によってはこの本は子どもに見せるべきでないと思われる方もいらっしゃるでしょうし、逆に同じ本をぜひ見せるべきだという方もいらっしゃいます。

また、子どもの読みたいという思いもありますでしょうし、先生たちが教材として使用したいという思いもあります。

ただ、それについて一定の配慮のうえで進めてくださいというのが私たちの仕事ではないかと思うので、このような通知をさせていただきました。

決してこれを見せるなというものでも、見せろというものでもなく、そこはあくまでも一定の配慮で教育的に考えていただきたいということです。

本日皆さんからいただきましたご意見等、しっかりと参酌しながら今後も進めていきたいと思います。ありがとうございました。

それでは報告事項に移ります。「令和7年度2学期の学校訪問について」、説明をお願いいたします。

（3）令和7年度2学期の学校訪問について

【木下学校教育課長】

報告資料 P 3 により説明

【陣内教育長】

S A 訪問は来ていただき、A 訪問はよろしければお願いいたします。また、B 訪問はそれぞれのご判断でご出席いただければと思います。

1 学期もありがとうございました。教育委員の皆さんからのご意見が本当に素晴らしいなと毎回聞かせていただいております。

それから校長先生方も、学校訪問の受けとめ方が変わってきたように感じます。少しでも子どもたちに対し良くするために、アドバイスをくださいという旨を胸襟を開いていただき、一層良くしていきたいんだという、建設的で前向きな思いをすごく感じています。校長先生たちは本当に真剣に、耳を傾けて経営を改善されています。

校長先生の中には、毎年来てくださいという声まで最近は出るようになり、ありがたいなと思っております。

お忙しい中とは思いますが、よろしければまたぜひ訪問ください。

以上でございます。何かお尋ね等はありませんか。

【全教育委員】

ありません。

【陣内教育長】

それでは続きまして、「令和 7 年度佐世保市中学校体育大会の反省について」、お願いいたします。

（４）令和 7 年度佐世保市中学校体育大会の反省について

【藤川学校保健課長】

報告資料 P 4 により説明

【教育長】

お尋ねやご意見があらわれましたら、いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【松野教育長職務代理】

競技中や送迎中の事故について報告は上がってきていませんか。

【大田学校保健課主幹】

競技中の事故については、捻挫等の事故はあっておりますが、各競技部できちんと対応しております。また、応急処置を行う救護担当も配置しておりますので、特に問題ありません。

送迎中の事故については、報告を受けておりません。

以上です。

【陣内教育長】

大会のやり方をいくつか変更したことに伴う変化や、けがの報告はなかったということの良いでしょうか。

【大田学校保健課主幹】

はい、それについてはございません。

【陣内教育長】

中学校体育大会について、了としてよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

（５）第四次佐世保市子ども読書プランについて

【田村社会教育課長】

報告資料別添冊子により説明

【陣内教育長】

以前より皆様からご意見をいただきながら作成していたものができましたので、今回ご披露しております。

お尋ね等ございますか。

【古賀委員】

この読書プランはホームページで確認することができるでしょうか。

【船本社会教育課長補佐兼指導係長】

はい。ホームページにもアップしておりますので、ご覧いただけます。

【陣内教育長】

この計画が、今年度から実行期間に入りました。

今年度新たに始めたことや、新たに改善したところはどのような事業になりますか。このプランに基づいて、どんなことが今、変わろうとしているのでしょうか。

【田村社会教育課長】

今回、新プランの1つのポイントとして、27ページの2番にあります数値目標の（1）ですが、「本を読むことは好きですか」という、端的な問いに変更しております。従来が「平日に本を全く読まない子の割合」という数値指標だったのですが、平日にかかわらず本を読む子どもたちにアプローチをすべきではないかというご指摘をいただきましたので、変更しております。

【陣内教育長】

アクションについてはどのような対応をしていますか。

【田村社会教育課長】

特に社会教育課主催事業で「うちどく（家読）講演会」というのを、読書ボランティア団体の方々と共催で行っておりますが、より効果的な開催につなげるために、まずもってアンケート調査の準備を進めているところでございます。

2学期の初旬を目途に、全保護者に向けて本を読まない理由であったり、本に興味を持つために有効なことについて、年明けの開催になろうかと思いますがアンケート調査をさせていただいて、うちどく講演会にまず反映をさせていきたいと考えているところでございます。

また、今回プランに新たに追加した項目として、1つ目にDX推進による利便性の向上があり、同じく27ページ中（5）の重点施策になります。2つ目に（6）の「多様な子どもへの支援」ということで、今回新たに追加した項目はこの2つです。

DXの推進に関しましては従来どおり、電子図書館やインターネット検索意欲等、DXに関する部分の推進を進めていきたいと考えております。

多様な子どもへの支援については、主に図書館でのことになりますが、LLブックということで、障がいを持ったお子さんが読むことに配慮した本を、充実させていくということとあります。また、同じく図書館にりんごの棚という、特別なニーズのある子どもを対象とした図書を配置する棚ですが、こちらの設置を進めていくということで追加をしているところでございます。

説明は以上でございます。

【陣内教育長】

わかりました。安心しました。

文教厚生委員会からもありましたように、これを作って終わりではなく、それをどう子どもたちに生かしていくかという観点で続けてください。

あとはよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

それでは報告事項の最後、「SASEBOグローバルキッズ・チャレンジ事業について」、お願いいたします。

（６）SASEBOグローバルキッズ・チャレンジ事業について

【田村社会教育課長】

報告資料P 1～P 2により説明

【陣内教育長】

こちらは何回目になりますか。

【田村社会教育課長】

令和３年度から５年目になります。

【陣内教育長】

皆様からお尋ね等ございますか。

【古賀委員】

受講された方の今後の追跡はされていますか。

【田村社会教育課長】

グローバルキッズ・チャレンジ事業に参加をされた方のその後の進捗を網羅的に把握できているわけではないのですが、文化国際課の事業である海外留学の報告会があり、そちらに参加された方々の中に、グローバルキッズ・チャレンジ事業の参加者の方が複数名おられるという情報は受けております。

調査をしているわけではないのですが、そういったことに繋がってはいるということで認識しております。

【陣内教育長】

成果測定はどのように行っているのでしょうか。

【田村社会教育課長】

そちらも課題の1つなのですが、これが市内で15名から20名程度ということで、少人数でスーパーキッズを育成できないかというところから公開されたプログラムなのですが、その参加した子どもたちが英語に関する成績が上がったり、チャレンジの機会が増えた等、そういったところを数値としてとらえきれてないのが現状ではあります。

先ほど5年目と申し上げましたが、その成果の測定というのは大きな課題の1つとなっていると思います。

【中村委員】

今資料の2次元コードも見ってみました。参加費500円で8回も教えてもらえるのに、15名しか応募できないのかなと最初は思いました。しかし、実際に見てみると、ここで何をやっているのか、その参加者たちがどんな感想を持っているのかという情報が書かれていないため、よくわからない状況です。また、2次元コードを通じてアクセスするといきなり申し込みのページになります。親や子どもにとっても、これだけではどのようなことをしてもらえるのかがわかりません。5回も開催されているので、最初に参加した子はもう高校生になっていると思いますし、以前参加した人たちの感想が掲載されていれば、もっとこのプログラムが有効に活かされ、15名を超える応募があり、どうしようかと嬉しい悩みになるのではないかと思います。せっかくのプログラムなので、もっと活かしてもらえたらと思います。

【陣内教育長】

すごく好評な事業なんですよ。参加された保護者さんからは、弟や妹も通わせたいのでまだ続けてくださいとよく言われており、狭いところですがすごく人気になっているんです。

ですので、5年目を迎え、事業スキームを考え直す時期かもしれません。そのためには成果測定も必要です。

【西沢委員】

今のお話を聞いていて、小学6年生だけに限定するのももったいないと思いました。

スーパーキッズを育てるというのは、6年生から始めるよりもっと下の学年から断続的にやっていく方が育つかもしいですし、間口を広げるという意味でも、グローバルキッズ・チャレンジのレベルを少し下げた簡単な内容で、早い段階から親しみを持たせるというのもすごくいいのかなと思います。

例えば、３年生のときに参加してすごく楽しかったから６年生でも参加して、さらに海外に興味を持ったとなれば、佐世保市ならではの英語教育も進んでいくと思います。

すごく良い企画なので、６年生に限定せずとも広げていってもいいのではないかなと思いました。

【陣内教育長】

一度度事業を見つめなおして、ブラッシュアップをしていく時期かもしれないですね。

【中村委員】

先生方に対する謝礼等は、予算は取ってあるのでしょうか。

【田村社会教育課長】

こちらについては社会教育課の英語シャワー事業の一環ということで、予算確保ができております。関わっていただいている関係団体の先生方には、謝金として報酬をお支払いしているところでございます。

【中村委員】

わかりました。それがないと続けられない事業なので、安心しました。

【陣内教育長】

他にはご意見等ございませんでしょうか。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -